

お知らせ：「2020年 センター秋のつどい」は中止

“いま、新型コロナウイルス感染症が世界中で流行しています。世界保健機関はこの感染症に COVID-19 と名前をつけました。この難局を乗り越えるためには、一人ひとりが自分も感染するかもしれない、感染しているかもしれないと思って振舞うことが必要です。” 2020年5月刊『岩波ブックレットNo.1026』より

子どもたちは3月から学校休校、その後の緊急事態宣言で私たちは自粛生活、不安を抱えたまま窮屈な日々をすごすことになりました。今後どのようになるのか、先が見通せないので、今年の「秋のつどい」は中止とさせていただきます。

代わりに「つうしん」の充実を図って、情報交換と紙上の交流を企画しました。本号の前半は、各地の団体の「コロナ以前の活動報告」を掲載しました。後半は会員の皆さんの3月4月5月の近況報告です。新型コロナウイルス感染の影響で、どのような生活をされたか、どんな本との出会いがあったかなど、原稿の依頼にこたえてくださった方の声です。

次号へ向けて、皆さんの報告もお待ちしております。